

最近の中国の教育

野々部 定 祐

(昭和55年9月30日日受理)

Education in Recent China

Sadasuke NONOBE

(Received September 30, 1980)

1 序論、戦前の教育

1) 戦前=観察した経験

昭和14年、東京帝国大学医学部第三学年在学中に夏休みに北京大学医学院(医学部)を訪問し、同大学医学部学生と北京烤鴨店で交歓した。同学生等は英語・独語を話し、古文を解し(筆談ができる)、料理の内容に関して解剖学的及び栄養学的の説明は極めて精細であった。すなわち、これは家鴨の舌の佃煮である。これは脂肪とグリコーゲンの多い肝臓である等である。

また北京大学の学生食堂で食卓について、食卓の人数だけの種類の副食物を持って来たが、これは中国の漢民族の一般の習慣であり、多くは野菜と肉とを油で炒めたものであった。

昭和19年8月より約半年間、海南島南部の第十六警備隊の陵水派遣隊の軍医長をしていた。当時、派遣隊の前には日本の国策会社の台湾拓殖公社があり、農産物の買付と研究と酒造をしていた。

現地の労務者は大部分が文盲であり、少し文学の読める者が10%前後、その2倍ぐらいが時計の時刻が分るので、最初に出勤して来るのが、その20%程度で、その出勤を見て他の労務者が出勤して来ると言っていた。

上海あたりの工場労働者にしても、文学の読める者が10~15%前後、その2倍ぐらいの20~30%が時計の時刻が分る程度である。そこで工場勤務の時間の管理は極めてむずかしいと言っていた。

終戦後の昭和20年10月には海南島の南部の三亚にあった海南海軍病院に勤務していた。当時、三亚の西の20軒

ぐらゐの所にある黄流海軍航空隊に国民政府軍の空軍が5人ぐらゐ進駐して来た。ついで10人ぐらゐに成ったが、後続部隊が来ない。黄流航空隊に留用されていた日本の海軍部隊が一個月以上たっても留用がとけない。そこで海軍病院に軍医官の派遣を願ひ出て来たので、私が11月頃に黄流航空隊の医務室に赴いた。

中国空軍の隊長は重慶大学生物学科出の新任将校であった。同将校の話によると、終戦時、中国空軍の兵力は約2千であり、中国には多数の日本の航空隊があるので、空軍の要員は現在、募集中である由。中国では小学校へ入学したものは殆んど大学を出るから、中学校卒でやめる者は殆んどいない。そこで中学校卒程度の学力を要する航空兵の採用は非常に困難であると言っていた。実際に其の後、昭和21年3月の引揚げの際まで、航空兵は一兵も来なかった。引揚げの約1个月前に空軍は警備兵として海南島出身の陸軍部隊を雇って来て、留用されている我々の仕事を引継いだのである。この陸軍部隊も文字を解するものが約10%ぐらゐであった。

2) 近年の中国軍人の教育

1912年、孫文(1866~1925)を大總統とする中華民国政府が南京で成立した。

同年に清朝の宰相、袁世凱(1859~1916)は革命軍に通じ清朝最後の皇帝宣統帝を退位させ、華北の軍政を握った。そうして孫文を圧迫して臨時大總統の地位を得た。

孫文は議会において軍閥政権をおさえることができると考えて袁世凱政権を認めたが、袁世凱は暗殺と軍事力とで国民党を解散させ、議会有名無実化した。

1914年孫文は中国革命党を作り、再び革命を起し1916年袁世凱が没落すると上海で中国国民党を結成した。そして1921年に成立した中国共産党と1922年に提携し、連

ソ容共を政策として革命政府を広州に移転した。

広州革命政府は幹部養成のために1924年に黄埔軍官学校を創立した。初代校長には蒋介石がなり、周恩来が教務主任となった。1925年孫文が死去すると蒋介石は国民革命軍総司令となり、軍閥政權の討伐を開放した。この近代教育を受けた将校をひきいて、革南・華中の軍閥を倒し、1926年に武漢をおとし、翌1927年3月に南京を占領した。

華北に向って北伐を開始した革命軍は共産党を認めない国民政府軍（国府軍と略す）と共産党を認める容共軍（中共軍と略す）とに分裂した。

広州より武漢に移った政府に対抗して、国府軍（蒋介石）は南京に政府を作り、やがて共産党を肅清した武漢政府と合同した。1928年4月国府軍は北京に入って、北伐を完成した。その後、国府軍中共軍は内戦の末、国府軍は都市を抑え、中共軍は辺地に残った。

1935年、日本軍が華北に侵入して、都市の国府軍は段々に重慶の方へ押されたが、中共軍は相互らず辺地に居た。

そこで中共軍は兵士のうち、^{ばくち}博奕と^{もろけ}ぼろ儲が嫌い、正直な者に文字を教えて教育した。国府軍の兵士は相変わらず文盲であった。

中共軍は教育の結果、昭和15年頃には既に人民に対して掠奪をしないことが評判になっていた¹⁾。

2 本論、教育の現状

本年（1980年）浦和市長の要請により主に河北省の省都の石家荘市との交歓のために中国を訪問した。4月18日に北京空港に着き、北京特別市、石家荘市、武漢市、広州市（仏山市を含む）を視察し、中国を北から南へ縦断して4月28日に汽車で中国を離れ、香港、マカオを観光して、30日、夕方6時に成田空港に帰った。

教育施設としては石家荘市の談南路学校（小学校）広州市第32番中学校（中学校は同じ市では番号で呼ばれる）広州市少年宮を見学した。各地とも見学後その職員と教育一般について、懇談した。

小学校は5年、中学校は初級中学2年、高級中学3年で、高級中学は我が国の高校に当り、高級中学を出れば、知識分子で、大学の入学の入学資格がある。広州市第32番中学は普通中学である。普通中学の大学進学率は10%前後であるが、いわゆる重点中学（名門校）はこれより、ずっと多い。

教育は義務化されず、普及化を行っている。即ち革命委員会のある所に小学校をおき、小学校でも入学試験、落第がある。例えば北京大学附属小学校は名門小学校だが、算数の試験は $-43=38$ のような二桁の、くり上りのある問題が二十題と語文（国語）の筆記試験は知っている漢字を二十字書けという問題が出たことがある。その二十字の漢字は中国人の受験生は皆、「中国共産党万歳我最敬愛的周總理毛沢東思想」と書くそうだ²⁾。中学校以上は少く、原則として寄宿舎がある。中学校の先生は少いので、狭き門である。少年宮は市と区にあり、課外の課目を教える。課外とは各種のスポーツ、舞踊（バレエ・民族舞踊等）、音楽（声楽・及び器楽で、器楽は洋楽器と民族楽器とがある）、絵画（洋画・中国画、鉛筆画等）、書（楷書・草書・隸書）等である。課外の各課目を試験して各課目の合格者を少年宮に集めて英才教育をする。二三年で、また試験して成績が悪いと他の中学生と入れかえる。中学校と少年宮の課外の時間割が共通であるから、中学の授業時間中に少年宮に来て、合格した課外の授業を受ける。だから原則として中学の音楽、絵画等の授業は複式授業である。少年宮の先生は地域の優秀な先生や大学出の先生を優先的に集めている。市と区とに少年宮はあるが、上下の関係はない。大抵、市が区よりも勝れているが、団体競技のスポーツでは例外がある。少年宮の出身者は相当数が専門大学に入る。

大学は専門大学は3年、普通大学は4年、医学部は5年である。

普通大学・医学部は全国統一入学試験の成績及び履歴で詮衡される。受験科目は文科系は政治・外国語・歴史・語文で、理科系と医学部は政治・外国語・数学・物理・化学・語文である。外国語は英語かロシア語である。語文とは中国語の白話文（国語体）を北京語の発音で読んだものであり、話し言葉では普通話という。普通話は学生及び学生であった知識分子には皆通ずるようになってきている。国語というのは各民族の固有の言語である。例へばチベット人にはチベット語、モンゴル人にはモンゴル語が国語であり、普通話は漢民族の国語の標準語である。

石家荘市にはカナダ人医師ベチューンを記念したベチューン和平医院があり、外科医の卒後教育をしている。石家荘市紡績工場の診療所では鍼を内科、整形外科で鎮痛に用いていた。薬局は洋薬の薬局の隣りに中薬房という漢方薬の薬局が並んでいた。レントゲンはスポット

撮影のできる中国産のものである。この形式のものが沢山作られている由。因みに胃癌が死亡率の第一位を占めると言う。医科大学は五年であるが、漢方を主としてやる中医は四年制の普通大学の卒業である。北京大学出の通訳が北京大学は名門大学中の名門大学であると言っていた。工場、学校ともに昼食時間は二時間あって、皆、家に帰って昼食を食べる。夫婦の共稼ぎの場合は早く帰った方が食事の用意をする由である。若し家族が家に帰って食事を取らない時には生徒はその家族の勤めている工場の給食を食べることが出来る。諶南路学校では生徒は原則として家に帰って食べるが、親の工場の給食を食べている者もある由である。学校の先生も昼食は家に帰って食べるが、独身の単身の先生は革命委員会で昼食を食べていると言っていた。なお石家荘市の第一紡績工場及び捺染工場はともに三交代制をしている。二時間の昼食時間と三交代の維持ができるようになったのは学校教育の成果であろう。

武漢市民間工芸工場の手描きの複製の中国画、仏山市の剪紙工場、広州市の中国工芸展の掛軸、工芸品等は少年宮の課外活動、専門大学の効果が現われていると思われる。

武漢で見た広州歌舞団、広州で見た上海曲技団はともに鮮やかな普通話で説明していた。

諶南路小学校では体育の時間は全学年複式授業で共通にやっていた。これは少年宮の存在理由であろうか。広州市第32番中学では化学の実験をしていたが、教室には水道がなく、ピーカーに水を汲んで実験していた。但し、この話を日本でしたら、私の高校でも水道のない所で化学の実験をやったと報告された事がある。なお体育の時間には近視眼予防のマッサージをやっていた。

小中学校の卒業生は進学しなければ定められた就職先に配給される。大学も成績順に多少希望を考慮して就職先に配給される。

3 結語、教育の効果

中国旅行ではチップの必要はなく、友誼商店（外人向けの商店）の品物は定価売になっていて、何処でも殆んど変らなかつた。これは学校教育の効果である。香港では同じ漢民族で相変わらずドル硬貨のチップが屢々必要だし、値段は5～6倍の掛値があった。

教育は普及化され、小中学校を出ても大学を出ない知識分子がふえて、市区を中心とする工場の労働者の養成に役に立っているようだった。

少年宮を中心とする課外の教育は専門大学の入学者をふやし、手工業の発展に大いに寄与すると同時に機械工業などの図面作り等の基本的な仕事に貢献している。

四人組と文革との影響で普通大学の卒業生がへり、中学校の先生と中堅の工場の技師の不足を来たしているようである。

要約するに割拠した軍閥を掃討したのは黄埔軍官学校の卒業生であるが、その部下まで教育して、辺地から中央へ出て、中国を統一した中華人民共和国は今や工場労働者の養成では成功したが、文革の影響で工場のリーダーの不足は解決に今しばらくの時間が必要であろう。

- 1) 山本市朗：北京三十五年一上、岩波新書、東京、1980年、16頁
- 2) 新島淳良：私の毛沢東、新泉社・東京・1979年、198頁